

## 第8回京都山城便教会

平成28年8月20日（土）

8月6日（土）、7日（日）、山口県の朴の森で行われた鍵山教師塾。そこで大谷先生が言われたことが未だに胸に残っています。「掃除をしたら本当に心がきれいになりますか？ 掃除をしたら立派な人になれますか？」

掃除をすれば利益が得られる。掃除をすれば試合で勝てるようになる。こういう考えは違うように思います。「何のために掃除をするのか」「何のための便教会か」。それをもう一度見つめ直して臨んだ第8回の便教会となりました。

第8回のテーマは「人生の基礎・基本とは」としました。数学を教える時に、「計算是数学の基本だから」と言います。バスケットを教える時に、「ボールポジションは基本だから」と言います。そして、多くの指導者は、それぞれの分野について、「基礎基本の徹底」を繰り返します。では、人生の基礎・基本はいったい何なのでしょう？参加者に聞いてみました。

- ・人生を楽しむこと
- ・挨拶ができること
- ・感謝の気持ちを持つこと
- ・夢、目標に向かって頑張ること
- ・チャレンジすること

などが挙げられました。私は、最初、森信三先生が仰られた「時を守り、場を清め、礼を正す」だと考えました。しかし、それも違うなと思うようになりました。時を守るのは相手の時間を大切にすること、場を清めるのは相手に心地よく過ごしていただくため、礼を正すのは相手に敬意を表するため。そう考えると、相手のことを常に思うことが根本なのではないだろうか。だからこそ、人生の基礎基本は相手を包み込む愛情だと結論づけました。もしかしたら、「時を守る、場を清める、礼を正す」もノウハウで、時間が守ればいい、掃除をしていればいい、礼儀作法を重んじていればいいとなり、その場の状況など顧みず、杓子定規に物事を進めてしまう、さらには自分本位に進めてしまうのであれば、本末転倒ではないかと思うようになりました。大谷先生の問いかけのおかげで、相手を思う愛情こそ、人生の基礎基本であると思えるようになりました。

このようなお話をさせていただき、スタートをした第8回の便教会。今回、会場をお借りした勝山中学校の先生方は、毎週金曜日17時をまわると、職員便所に集まり、トイレ掃除が始まるのだそうです。そこで、掃除をしながら、困っていることの相談や先輩教員の姿勢を学ぶ場となっているようです。そんな先生方とのトイレ掃除は、いつも以上に凜とした空気が張り詰めました。開会式開始から40分後のトイレ掃除だったため、「早くトイレ掃除を」という雰囲気が流れ、始まるやいなや、便器に手を突っ込み、ひたすらに便器を磨かれていました。35℃を越える猛暑日の中、誰一人、口を開かず、黙々と便器を磨かれる姿。時折、額から流れる汗を拭きながら、どんどん近くなっていく便器との距離。はじめはあまりにも汚い便器にためらいを見せた参加者も、磨けば磨くほどきれいになっていく便器に愛着を感じ、汚れと共に心もすっきりしていく様子を体験されておられました。





外で尿こしをきれいにしていただいていた音川先生は、「トイレの中から、温かい空気がずっと流れてくるんです。久しぶりに学校という雰囲気味わうから、余計に先生方の思いを感じられるのかもしれない」と言われていたのが、今回の便教会を象徴する言葉となりました。

トイレは見る見るうちに、きれいに磨かれていき、もともと便器がもつ白さが浮き出てきて、それに合わせてトイレ全体の空気がきれいになっていく様子を肌で感じることができました。

< Before >



< After >



掃除終了後の交流会では、次のような言葉をいただきました。

- ・最初は汚れた便器に手を突っ込むのに勇気がいりましたが、きれいになっていく便器にどんどん顔が近づいていくのが分かりました。終わって、本当にすっきりして、達成感が大きいです。
- ・人生の基礎基本というテーマをいただき、トイレ掃除をしながら、そのことを考えていました。そこで、親の顔や、生徒の顔が浮かんできて、自然と頑張ろうという気持ちにさせていただきました。
- ・こういう活動に参加していることをなかなか職場で言い出すことができず、結局自分1人でやっています。でも、そういう姿勢を続けていくことが大事だと感じ、生徒にも姿勢で示していきたいと思います。

最後には、勝山中学校の校長先生から、アイスクリームの差し入れ。校長先生の素敵な笑顔と心遣いに感動し、次回11月も勝山中学校で便教会をさせていただくことを約束して、閉会とさせていただきました。勝山中学校の皆様に心より感謝いたします。(小笹大道)

